ご挨拶

キルギス共和国日本センター　共同所長代理　兼
キルギス日本センタープロジェクト　チーフアドバイザー
岩井　淳武

昨今のキルギス国内の動き

独立行政法人　国際協力機構
キルギス共和国事務所
所長
根本　直幸

JICA関西センター・キルギス日本センター共催
キルギスビジネス・人材セミナー

キルギス発
日の丸ベンチャーの本音トーク

◆本日のプログラム

【第一部　キルギスのビジネスポテンシャル】

- キルギスのビジネスポテンシャル
- キルギスから世界への輸出
- キルギス　現地でのビジネス展開
- 日本からキルギスへのオフショア（IT）

【第二部　キルギスの人材ポテンシャル】

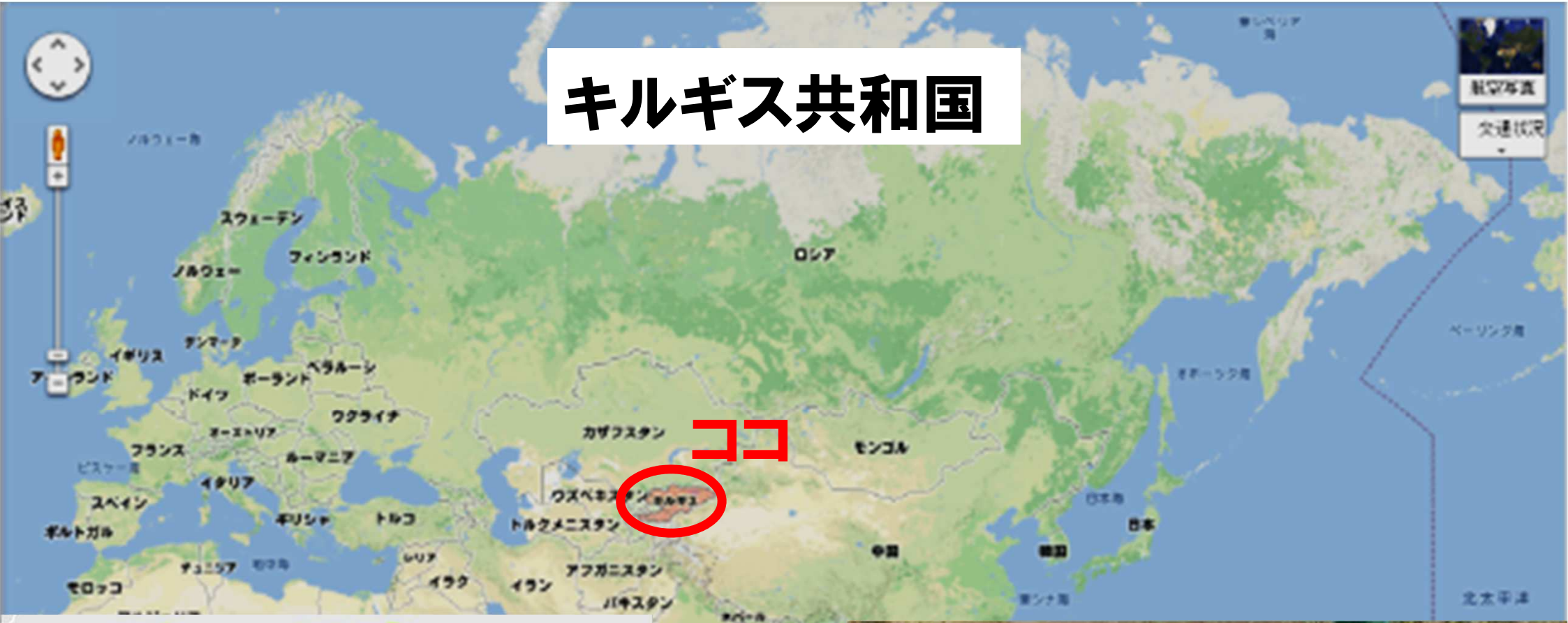
- キルギスの人材ポテンシャル
- 日本への人材送出し状況と今後の見通し

※質問・意見は随時、ZOOMのチャットボックスに書き込み願います。
QAコーナーで回答いたします。

キルギスの
ビジネスポテンシャル

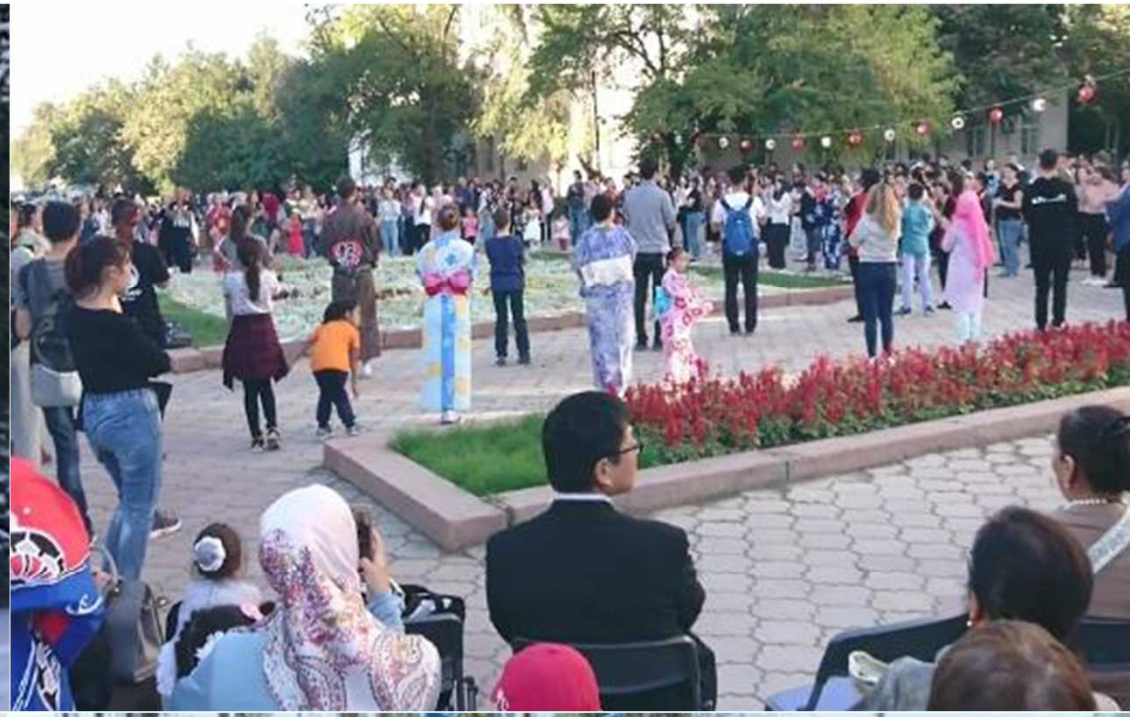
キルギス共和国日本人材開発センター（KRJC）
ビジネス交流専門家
田中　真也

キルギス共和国


ココ
ロシア
カザフスタン
モンゴル
ウズベキスタン
トルクメニスタン
中国
日本
ノルウェー
スウェーデン
フィンランド
ポーランド
ベラルーシ
ウクライナ
ルーマニア
ドイツ
フランス
イタリア
スペイン
ポルトガル
ギリシャ
トルコ
イラク
イラン
アフガニスタン
パキスタン
インド
ネパール
モロッコ
アルジェリア
リビア
エジプト
ベーリング海
オホーツク海
日本海
東シナ海
北太平洋

ロシア
アスタナ
カザフ
カザフスタン
アラル海
バルハシ湖
モンゴル
アゼルバイジャン
カスピ海
ウズベキスタン
トルクメニスタン
タシケン
ビシュケク
イシク・クリ湖
キルギス
ウズ
中国
タジキスタン
ココ
イラン
アフガニスタン
パキスタン
首都

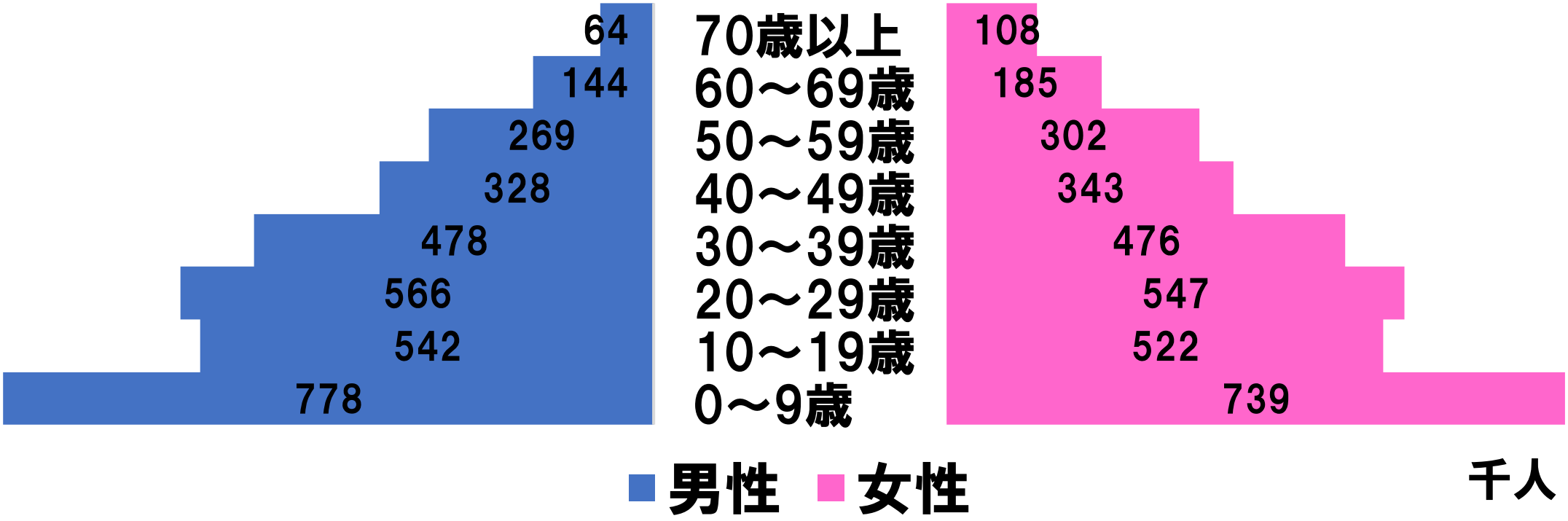
【第一部　キルギスのビジネスポテンシャル】 キルギスのビジネスポテンシャル



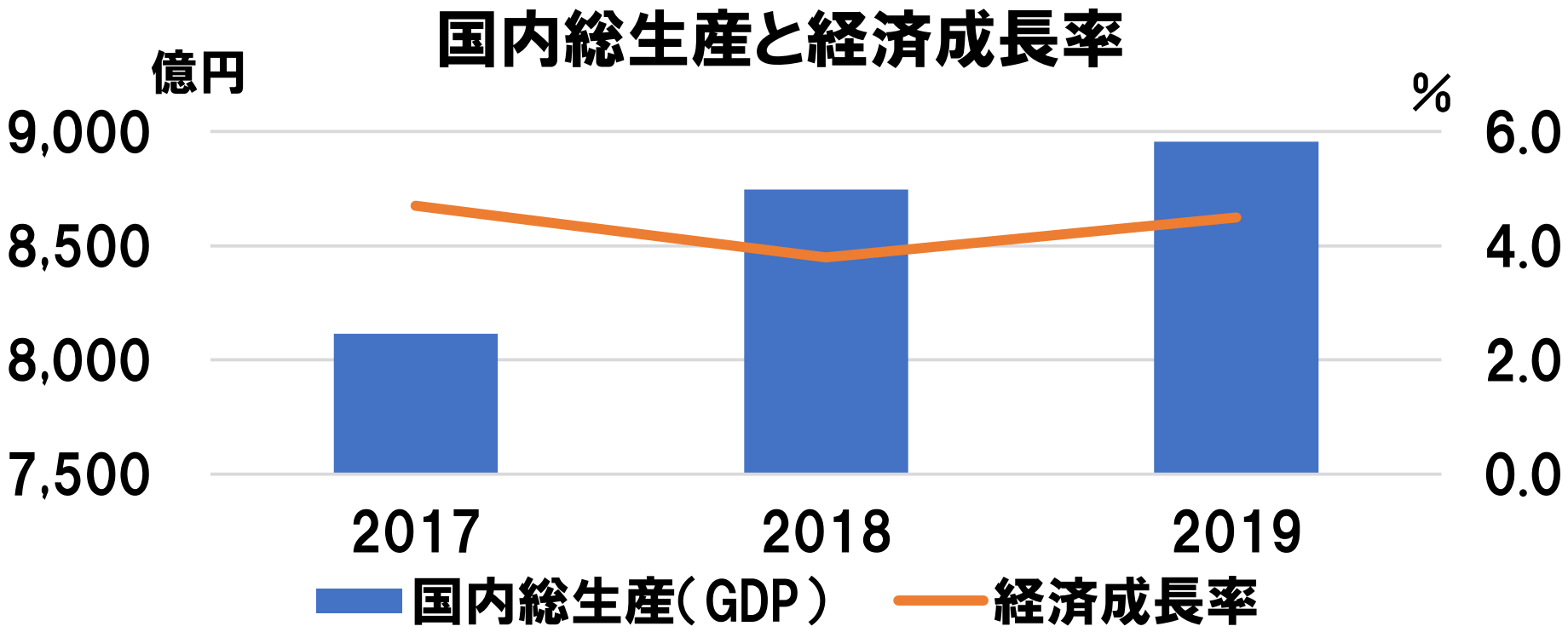
歴史：　キルギス・ソビエト社会主義共和国（1936年）
　　ソビエト崩壊に伴い独立（1991年）
面積：　19万8,500平方キロメートル（日本の約半分）
人口：　660万人
首都：　ビシュケク（Bishkek）
民族：　キルギス系（73.7％）,ウズベク系（14.8％）,
　　ロシア系（5.3 ％ ）,その他
言語：　キルギス語が国語。（ロシア語は公用語）
宗教：　主としてイスラム教スンニ派

人口　2010年548万人→2020年660万人（20％増）
20 歳未満40％、30 歳未満58％
国内マーケットの拡大、就労の場の不足

年齢別人口（2019）



国内総生産（GDP）：約9000億円（145位）
経済成長率：4～5％程度で推移
1人当たりGDP：13万7千円（163位）
月給平均：2万3千円

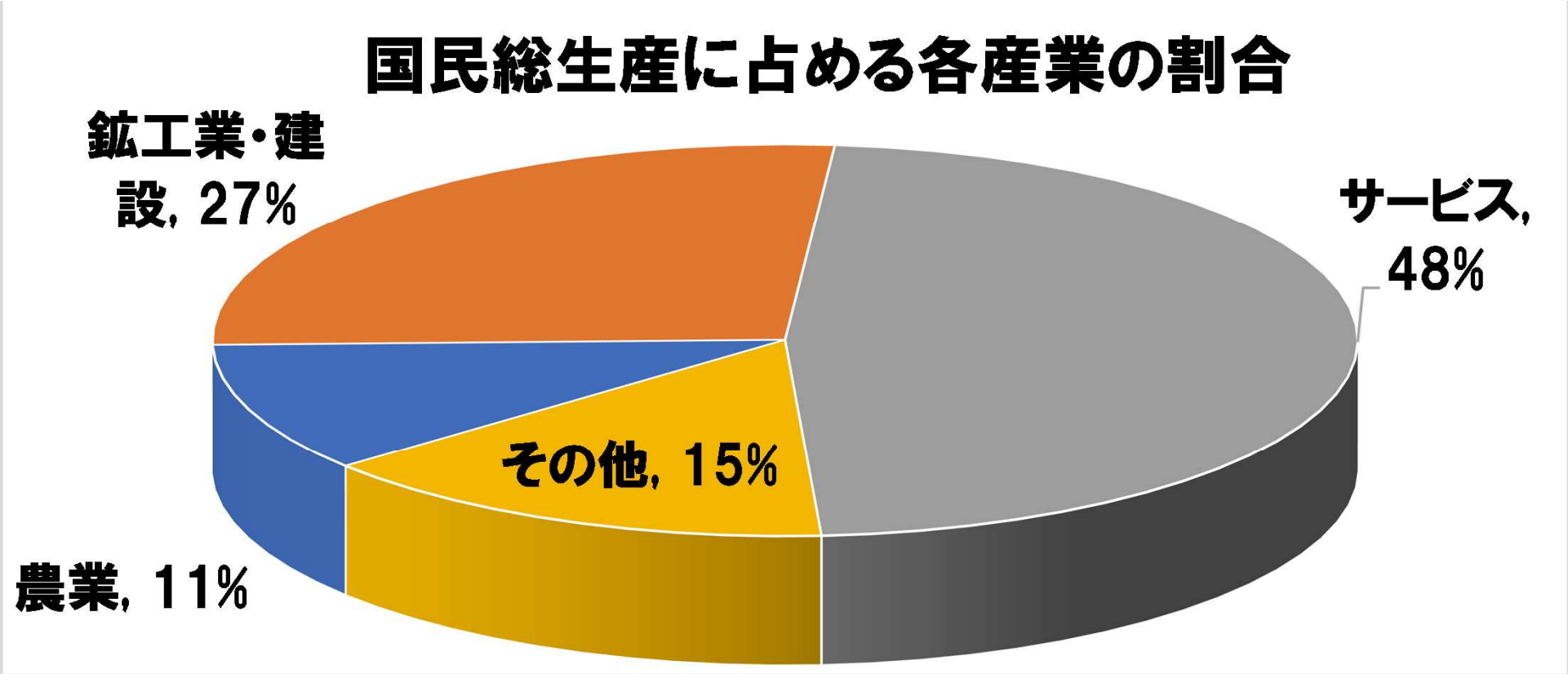


主要産業：　鉱業（金）、農業・牧畜

金鉱山の生産がGDP の10%弱、有力な製造業がない

観光産業が成長傾向、GDPの約5％

GDPの外に海外からの出稼ぎ送金約2500億円（30％程度）が存在



生活必需品を輸入に依存、大幅な貿易赤字

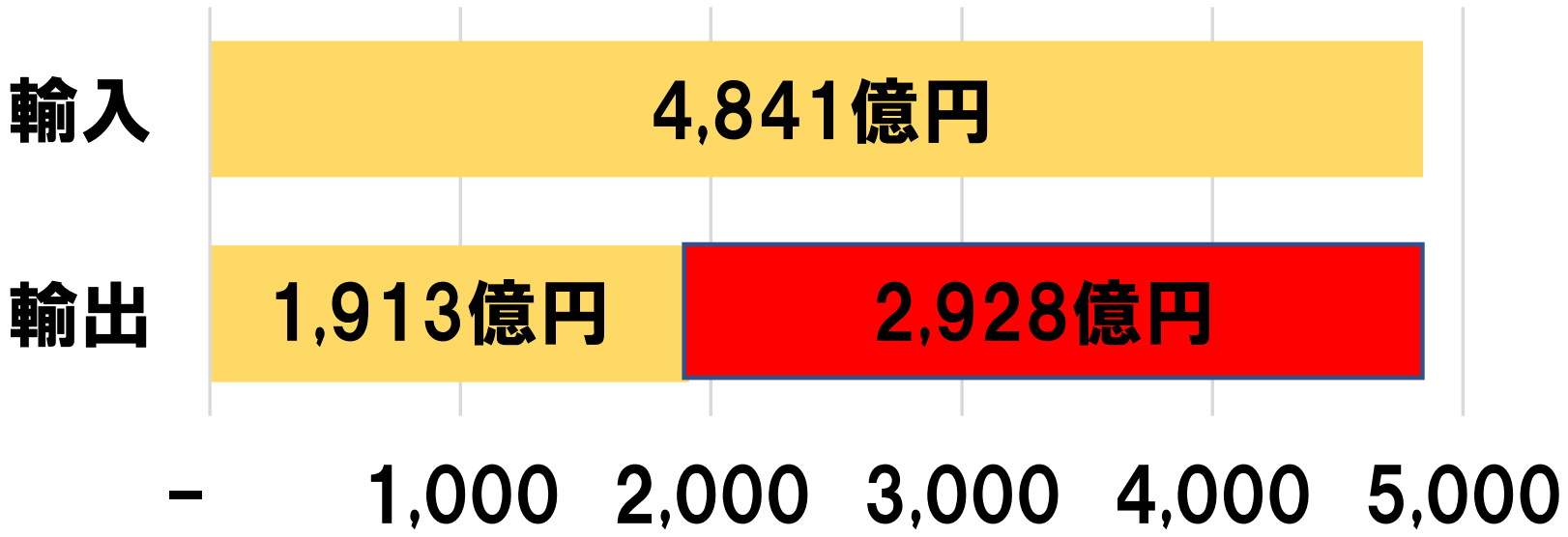
輸入品目：石油・石油製品、輸送機械、生活用品

輸出品目：金（約1/3）、食品、繊維製品

輸入：中国、ロシア、カザフ、トルコ、ウズベク

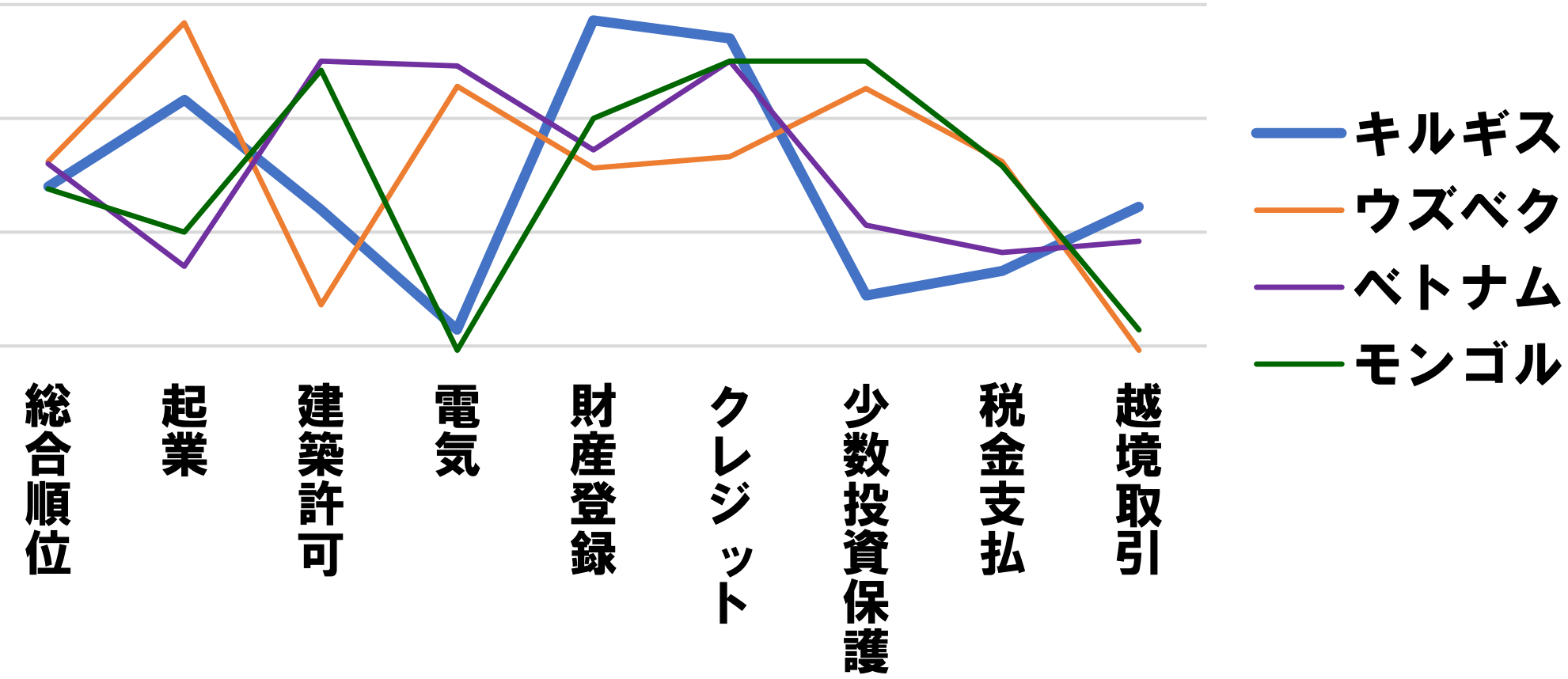
輸出：イギリス、カザフ、ロシア、ウズベク、トルコ

貿易収支



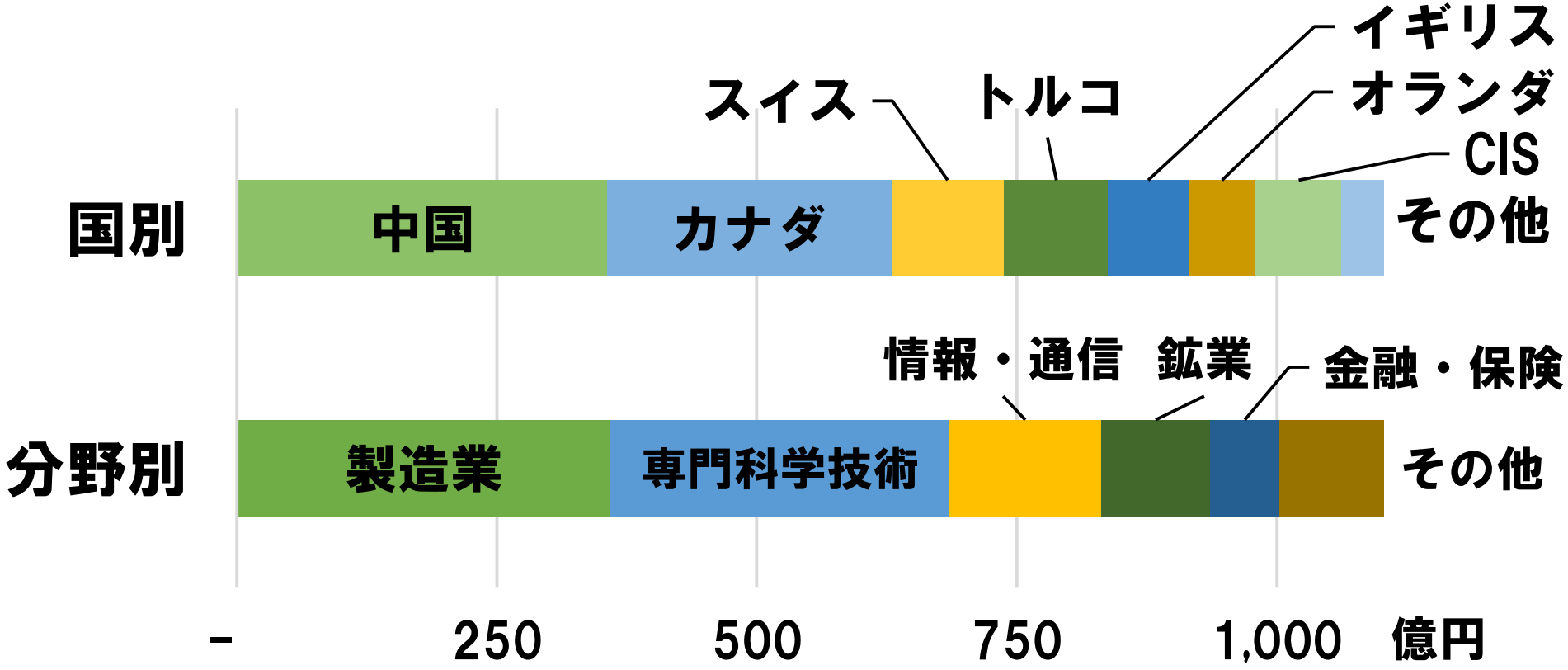
80位/190か国(下記の旧/現社会主義国と同レベル)
ビジネスの始めやすさ、財産登録、越境取引で優位
電気は豊富だが地方・場所によりアクセスが悪い

世界銀行Doing Businessランキング (2019)



主な海外投資元：中国、カナダ
分野：製造業、専門科学技術
日本は国別投資額11位、6.2億円

海外直接投資（2019）1,135億円



世界貿易機構（WTO）加盟（1998年）

ユーラシア経済連合（EAEU）加盟（2015年）

加盟国：ロシア、カザフ、ベラルーシ、キルギス、アルメニア
約1億7千万人の市場、世界面積の14％へのフリーアクセス
（財・サービス、　資本、労働力）

2016年　EUよりGSP+（特別特恵関税）取得

CIS各国と自由貿易圏協定

ベラルーシ,アルメニア, アゼルバイジャン, ロシア, モルドバ, ウクライナ,
カザフスタン, タジキスタン, ウズベキスタン, トルクメニスタン

【自由経済区域(FEZ)】

- 法律および税務上の優遇措置を受けられる工業地域
- 工場の場合、売上の70％以上を輸出するという義務あり
- 主な事業内容：プラスチック包装、ミネラルウォーター、農産物加工、ハーブ医薬品、金属加工、コンピューター機器等

	ビシュケク	マイマク	ナリン	カラコル	レイレック
所在地	ビシュケク市	タラス州	ナリン州	カラコル州	バトケン州
特色	政治経済の中心地	国際輸送十字路に位置	観光・工業発展の期待	観光発展の期待	越境貿易に有利な位置
入居社数	298	7	5	31	8

【自由経済区域(FEZ)の特典】

- FEZ内への商品の輸入、FEZ内で製造した商品の輸出、再輸出製品に対する関税の完全免除
- 通信、水道、電気、輸送など主要インフラへのアクセス
- 外国人の雇用に対する規制の簡素化
- 税金、賦課金、手数料が一部免除
- 事業登録、関税手続きの簡素化

【ハイテクパーク登録企業の特典】

- 法人所得税、付加価値税、売上税の免除(一定期間)
- 従業員の所得税・租税公課が5％まで軽減

日本とのビジネス：現状、非常に関係が薄い

- そもそもあまり知られていない
- 地理的な要因：遠い、二重内陸国で輸送コストが高い
- 言葉の壁：英語も日本語もほとんど通じない
- 商習慣、文化の違い：ビジネスの難易度が高い

	対外直接投資	輸出	輸入
キルギス	6億円	0.4億円	27億円
ウズベク	26億円	197億円	5億円
ベトナム	2,735億円	17,384億円	23,698億円
モンゴル	29億円	615億円	24億円

日本とのビジネス：現状、非常に関係が薄い

- そもそもあまり知られていない

  → 穴場、今がチャンス

- 地理的な要因：遠い、二重内陸国で輸送コストが高い

  → 軽量で高価な商品、第三国を対象とした商品、
  物を運ばないビジネスに商機あり

- 言葉の壁：英語も日本語もほとんど通じない

  → 英語が話せなくても大丈夫

- 商習慣、文化の違い：ビジネスの難易度が高い

  → キルギス日本センターがサポートします

  → 参入時にJICAのサポートが得られる可能性があります

キルギス共和国日本人材育成センター（KRJC）

- 現地・日本向けビジネスサービス、日本語人材育成サービス、相互理解活動を行う独立採算の現地NPO（1995年設立）
- JICAはこのNPOのサポート（専門家の派遣、予算措置）を通じて現地のビジネス人材育成と日本との相互ビジネス交流を推進

キルギス日本センターの日本向けサービス

▪　市場調査・FS策定支援

官公庁含む独自ネットワークを通じた情報収集、現地専門家によるビジネスプラン策定

▪　ビジネスマッチング

日本式マネジメントを学んだセンター卒業生（1500名）を通じた現地パートナー探し

▪　ビジネススタートアップ支援

現地パートナー企業へのコンタクト、法人格や各種許認可の取得支援、ビジネススタートアップのためのネットワークの形成やロジスティクスなど

▪　企業向け人材育成

現地スタッフ向け、高度人材採用に向けたビジネスマナーやビジネススキル、日本語教育など

日本向けサービスご活用事例

▪ 市場調査・FS策定支援

投資案件における不動産関連法令調査、大規模投資プロジェクトに係る市債/省債の法令・状況調査、買収対象物件の法的現況調査、工場建設に向けたロードマップ作成と支援（提案段階）

▪ ビジネスマッチング

卒業生組織に対する引き合い情報の発信

▪ ビジネススタートアップ支援

現地パートナー企業とのMOU締結支援、公式・非公式会合への同行、打ち合わせの代行、アポどり、車両等の手配

▪ 企業向け人材育成

既存コース（ビジネス、日本語）の活用、職場研修の提供（タイムマネジメント・報連相など）、現地法人向け日本語・ビジネスマナー研修の提供、高度人材採用に向けた技術系大学生への日本語集中トレーニング

企業向けアドバイザリーサービスのご案内

- 本格的にキルギスへのビジネス参入を検討する前に少し感触を知りたい、といったニーズにお応えするためのサービス
- 提供させていただくサービスの内容

(1) キルギス国内における情報収集・提供

(2) キルギス国内における情報発信

(3) 日本人専門家による対応(相談業務等)

- お客様が想定される作業に対し、KRJCで対応させていただくのに必要な日数に1日当たりのサービス単価(150ドル/日)を乗じてお見積りを作成

JICAの民間連携事業

- 従来のODAだけでは途上国の経済・社会課題の解決への貢献に限界

→　民間企業等のビジネスを通じた現地の課題解決

- 制度の詳細はJICAのホームページ（JICA　民間連携で検索）やJICA関西センターにて入手可能

（個人的見解）:

①「ODA（開発課題に合致）」かつ「ビジネスとして成立」かつ「公的支援の必要性」の3点の成立が重要

②事前に現地を訪問し、JICA事務所との打合せ、現地パートナー探しなど確実に実施できる目途が立っていることが重要

キルギスにおける採択事例

年度	法人名	事業名	所在地
2013	(株)IHIスター	広域酪農地域向け農業機械普及促進事業	北海道
2015	(株)デジタル・ナレッジ	政府機関職員の能力向上のための学習管理システム(LMS)の導入にかかる案件化調査	東京都
2016	サンゴ北海道(株)	道路斜面防災にかかる案件化調査	北海道
2016	(株)若林商会	エスパルセット蜂蜜の商品化にかかる基礎調査	福岡県
2018	(株)薬ゼミ情報教育センター	薬剤師再教育及び国家試験開発事業 案件化調査	東京都
2018	(株)愛亀	省力型全天候舗装補修材を活用した道路維持管理推進にかかる案件化調査	愛媛県
2018	(有)サント電業	農作物の付加価値化を目指した乾燥食品の製造・販売及び食品乾燥機製造のための案件化調査	山形県
2019	サンゴ北海道(株)	道路斜面防災にかかる普及・実証・ビジネス化事業	北海道
2020	(株)薬ゼミ情報教育センター	薬剤師継続教育及び国家試験開発事業普及・実証・ビジネス化事業	東京都

キルギスの開発ニーズ

対象分野	対象分野詳細	活用が想定される製品・技術・ノウハウ
農業	農村インフラ整備	野菜種子調整にかかる各種農機(唐箕、脱穀機、乾燥機、選別機（吸引式、転選式、比重式）等
		獣医畜産分野にかかる各種資機材（獣医診断機器、飼料作製・繁殖・搾乳・生乳管理流通・乳製品検査機器）
		野菜（ジャガイモ、根菜類等）栽培・流通・保管・品質管理・検査にかかる各種資機材
		農畜産品（加工品を含む）の輸出・検疫検査にかかる技術やノウハウ
保健医療	保健医療	ITを活用した安価なNCD対策、遠距離診察に資する技術・サービス
インフラ整備・運輸交通	道路・橋梁分野	夏季の融雪期（5～7 月）に頻発する落石、地すべり、土石流等 への対応策（落石・崩壊土砂防護柵・ネット等）
		冬季の地吹雪・雪崩への対応策（防雪柵・スノーシェッド等）
		低コストで導入が容易である費用対効果の高い道路・橋梁等の補修・補強技術。
その他	ガバナンス	カスタマーサービスの向上、IT活用による行政・社会開発、IT活用によるデータ分析・利用、インターネットインフラの整備

キルギスから世界へ
世界品質を実現した秘訣

キルギス一村一品（OVOP）プロジェクト

チーフアドバイザー
原口　明久

なぜ？キルギスなのか？

- 年間の降雨量は600-1000mmと少ない。
- 山々により雪として蓄えられる。
- 88000kmの灌漑施設。
- 日照時間が長く、十分な水が使える。
- バイオスフィアに登録されており、環境を汚染する工場がない。

信頼できる取引相手

OVOP+1（One village One Product +1）

◉ JICAプロジェクトにて組織化、2600人の組合員が作る生産商品を取り扱い。

◉ キルギス全国の生産者への商品開発・品質管理指導など。

◉ キルギス全国に販売ネットワークを持つ。

◉ MUJIへの商品提供10年の実績。

◉ フェルトや蜂蜜をヨーロッパ、アメリカへ輸出。

商品カテゴリー

- 養蜂
  蜂蜜、ビーブレッド、プロポリス、

- ワイルド/スーパーフード系
  シーバクソン、ローズヒップ、バーベリー

- 農産品
  カレンデュラ、ビーツパウダー、キノア、種子、ドライフルーツ・ナッツ、インゲン豆

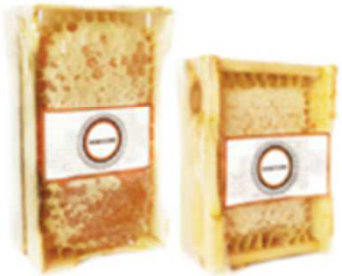
養蜂商品

エスパルセット

ホワイト

マウンテン

液体プロポリス



ハニーコム

ビーポーレン
ビーブレッド

加工蜂蜜
- ●ロイヤルジェリー
- ●プロポリス
- ●シーバクソン

ワイルドベリー
スーパーフード系

オイル：シーバクソン
ワイルド杏子核油
カレンデュラ

Wild berries

ローズヒップ

ビーツ

キノア

ジャム・ジュース

農産品

- ドライフルーツ：杏子、プラム、リンゴ、
- ナッツ類：クルミ、アーモンドなど
- 農産物：カレンデュラ　ビーツパウダー、キノア
- 種子：各種野菜種子（JICAにより技術指導、クリーニングシステム等導入）

メリノウール/フェルト

ウェット・フェルティング

ニードル・フェルティング

メリノウールを使った縫い目の無い一体形成。
無印良品への商品生産10年の経験。

750種類の商品を生産、どんなデザインでも形成できます。

輸送手段

・空路による輸送

蜂蜜と輸送料の総額が20万円以下の場合　10％関税

バルク輸送75～100㎏で送料込み料金1750ドル程度。

・コンテナによる輸送

カザフスタンー中国経由20フィートコンテナ

約8500ドル＋関税

現地でのビジネス展開
薬剤師教育ビジネスへの挑戦

薬ゼミ情報教育センター　国際事業部長
松野　良智

自己紹介

松野　良智　40歳

福井県出身　東京都在住

薬ゼミ情報教育センター国際事業部　事業部長

元講師　担当は衛生薬学（予防の学問）

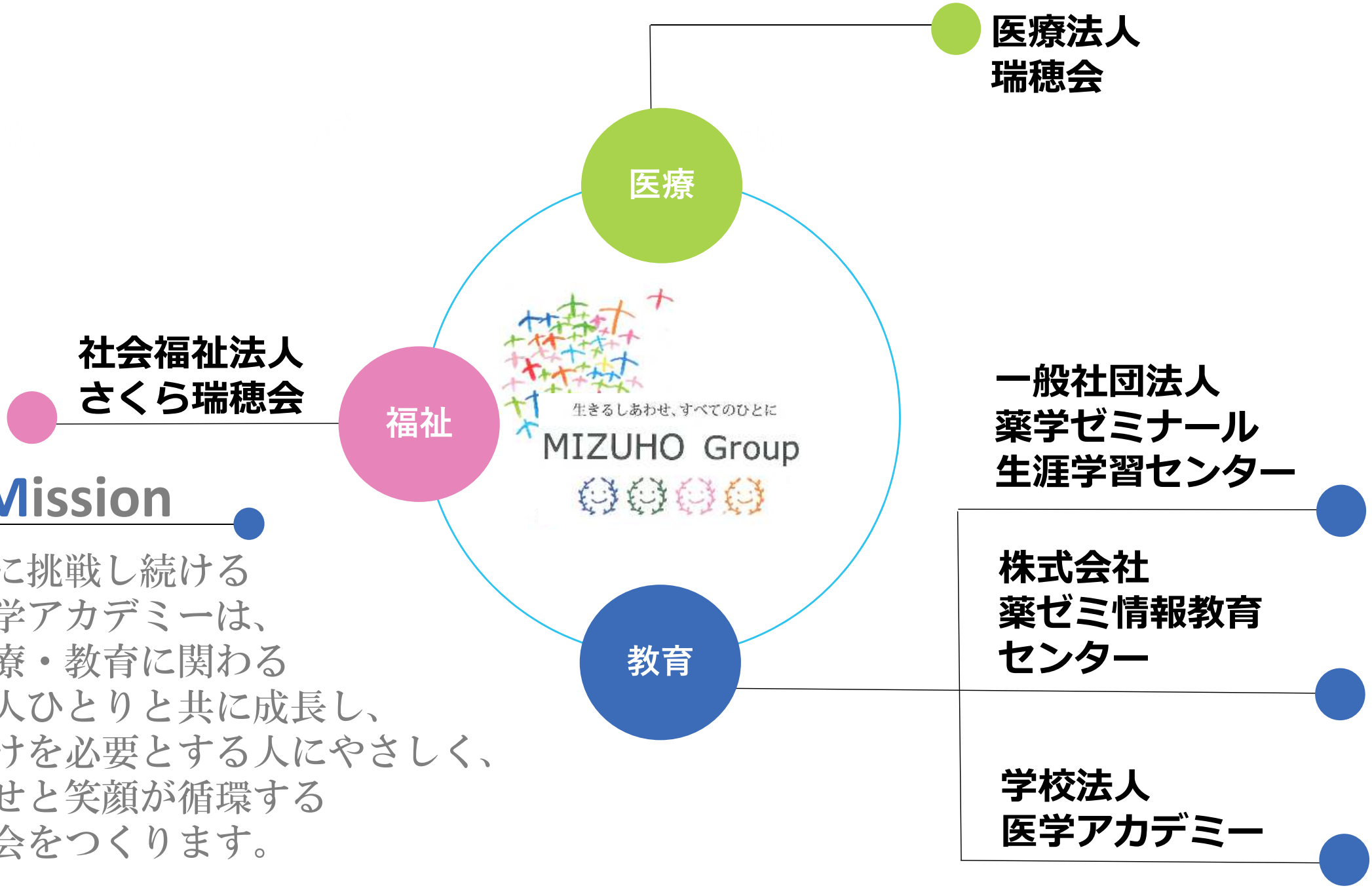
主な業務：国内・海外での新規事業開発

夢　：日本の医療を世界に広げ、世界の人を助ける

趣味：お酒、読書、英会話、

子供と遊ぶこと

法人紹介



Mission

常に挑戦し続ける
医学アカデミーは、
医療・教育に関わる
一人ひとりと共に成長し、
助けを必要とする人にやさしく、
幸せと笑顔が循環する
社会をつくります。

キルギス　プロジェクトの概要

カウンターパート

キルギス共和国　保健省

実施内容

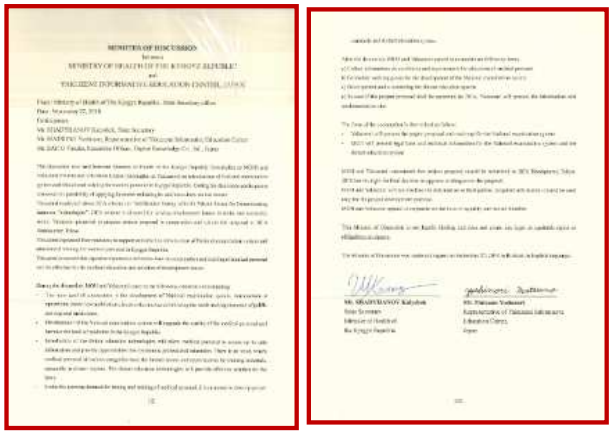
1 キルギス共和国に薬剤師国家試験を作る → 将来の国家事業へ

2 薬剤師のための継続教育を行う → 将来のビジネス化へ

以上2点のための案件化調査 および 普及・実証・ビジネス化事業

関係機関

JICA・KRJC
キルギス医療アカデミー
キルギス継続教育センター
在日キルギス大使館
在キルギス日本大使館



保健省と薬ゼミの協力協定書

法人紹介

教育

薬剤師の予備校
・講師は医師、薬剤師、理学療法士等
・教室とE-ラーニングを実施

薬剤師生涯学習
・薬剤師向け先端教育

理学療法師専門学校

製薬メーカー向け研修
・日本にあるほとんどのメーカー研修を実施

薬局コンサル業

医療

病院
・埼玉県を中心に病院を展開

リハビリ病院
・リハビリに特化した病院

介護老人保健施設
・介護に力を入れた施設

在宅看護
・訪問看護ステーションみずほ

薬局
・東京埼玉を中心に薬局を展開

福祉

特別養護老人ホーム
・日帰りや短期利用も可能な老人ホーム

障がい者支援施設　レストラン

プロジェクト実施にいたる経緯

キルギス共和国の医療について

旧ソ連崩壊以降、保健セクターへの予算配分がなされず、医療が崩壊した。

非常に親日の方が多い⇒**日本式の教育に関心が高い。**

※国土全体の40%が3,000mを超える山国⇒**教育の地域格差につながる**

薬剤師：約5,500名　※全医療従事者60,000名

薬学部：5年制　薬学部数：３大学（他、3年制の専門学校が存在している）

イシククル(湖)

キルギスの山村部

キルギスの都市部

プロジェクト実施にいたる経緯

キルギス共和国の医療について

国家試験：ない　学校を卒業すると薬剤師になれるが、

教育水準は高くはなく、学校により差がある。

薬剤師の現状：病気や薬の知識を習得できていない。※政府はその現状を課題と認識しており、医療水準向上を行いたい。⇒**医療分野は開発課題の一つであった。**

5年間で最大250時間の研修受講義務があるが、その主幹である保健省下部組織の継続教育センターには運営するリソースやノウハウがないため、一部を民間に委託

⇒**ビジネスチャンスあり**

キルギスの薬局

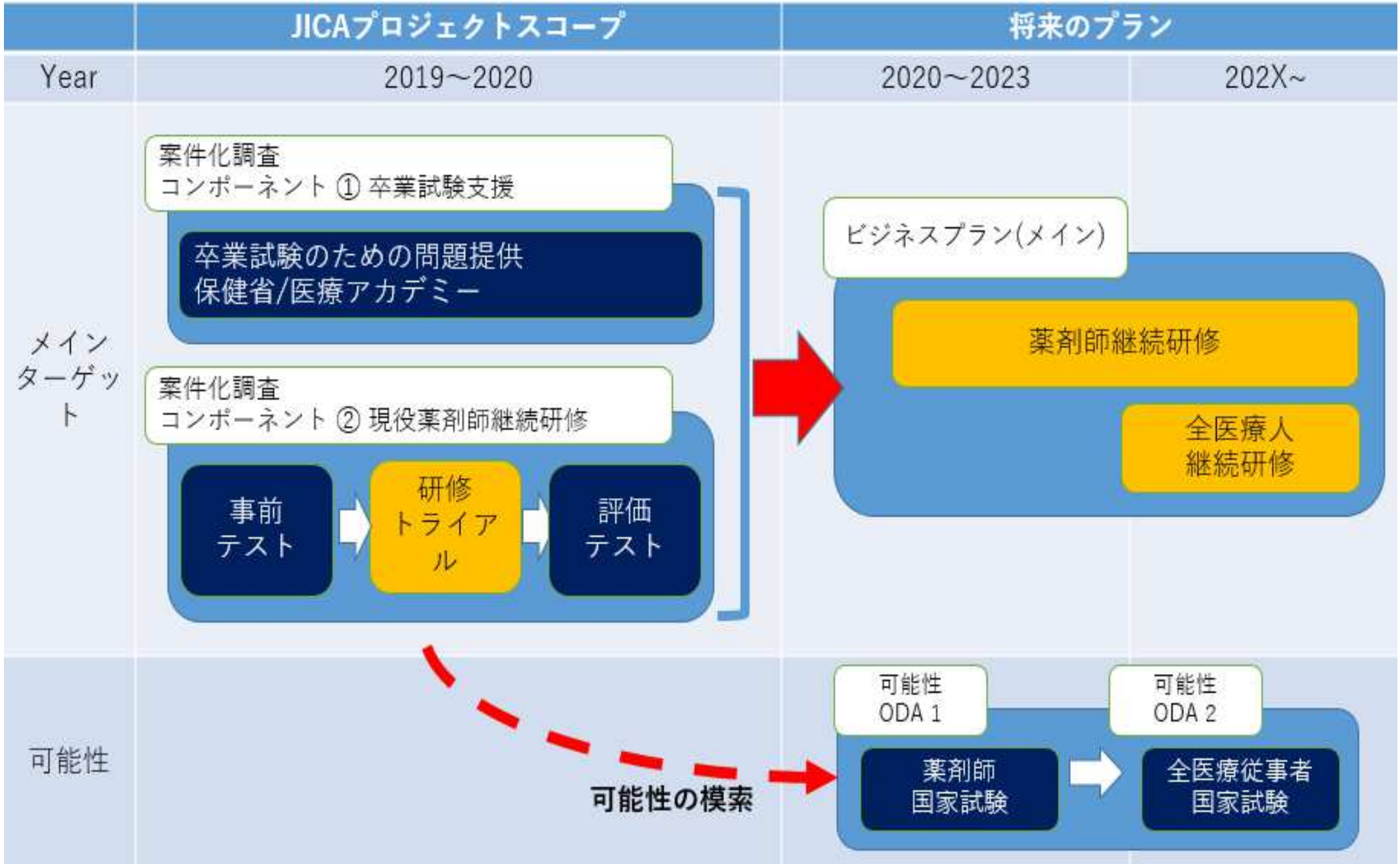
案件化調査、普及・実証・ビジネス化事業とは

今回のスキーム

	現地で基礎的な情報を収集したい	ビジネスモデルを策定したい	ビジネス活動計画を実証・策定したい
中小企業・SDGsビジネス支援事業			
概要	**基礎調査** 基礎情報の収集・分析（数か月～1年程度）	**案件化調査** 技術・製品・ビジネス等の活用可能性を検討し、ビジネスモデルの素案を策定（数か月～1年程度）	**普及・実証・ビジネス化事業** 技術・製品やビジネスモデルの検証。普及活動を通じ、事業計画案を策定（1～3年程度）
原則 中小・中堅企業 中小企業支援型	中小企業支援型（850、980万円） ※中堅企業は対象外	中小企業支援型（3、5千万円）	中小企業支援型（1、1.5億円）
原則 大企業 SDGsビジネス支援型	なし	SDGsビジネス支援型（850万円）	SDGsビジネス支援型（5千万円）

※出典　JICAホームページ

案件化調査で実施したこと



案件化調査で実施したこと

プロジェクト実施期間

2019.6～2020.2

1．各種調査および研修準備（プロジェクト開始前～2019.10）

- キルギス保健状況
- E-learningインフラ普及状況
- 医療機関情報収集
- 教育制度、教育機関に関する調査
- 大学への問題提供
- その他ビジネス化に対して必要な調査

案件化調査で実施したこと

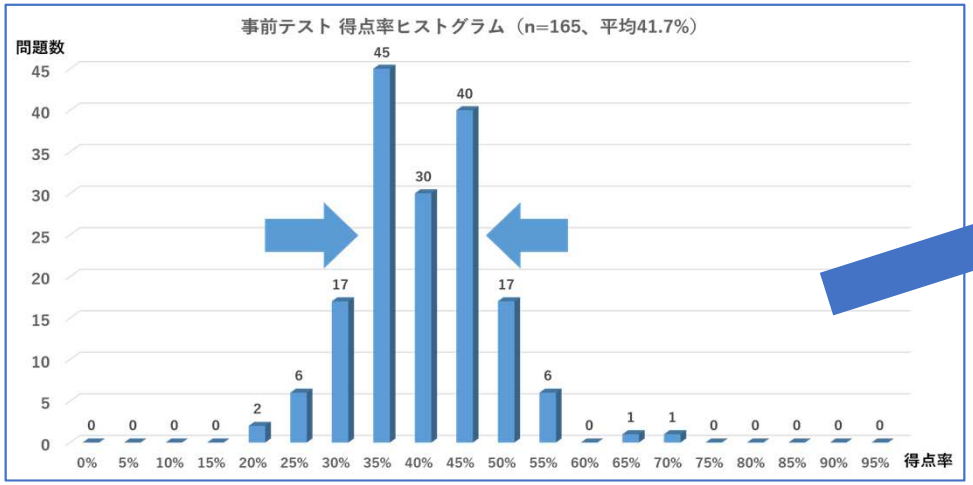
2．現役薬剤師向け研修実施（2019.10～2019.11）

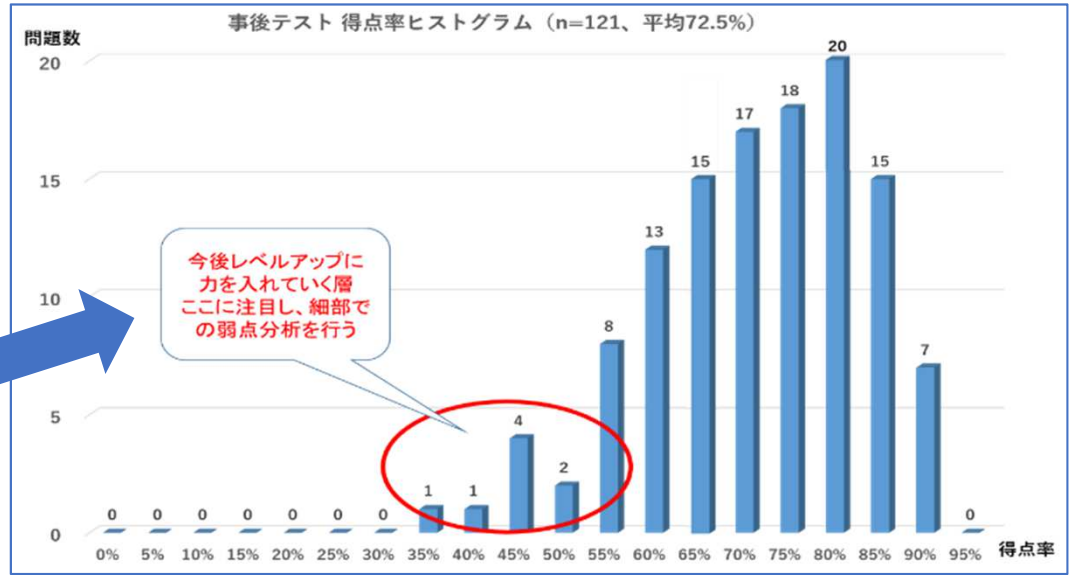
・実施規模　：国内4拠点(ビシュケク、オシュ、タラス、カラコル)、165名

・研修内容：糖尿病と高血圧を学習。**患者の命に関わる薬剤師に必須の知識**。

・研修の流れ：事前実力確認テスト ⇒ E-ラーニング ⇒ 成果判定テストの順に実施

○ 事前⇒事後テスト比較結果





普及・実証・ビジネス化事業では、より大規模なトライアルを実施する。

ＪＩＣＡ事業後のビジネス計画概要

概要

キルギスの薬剤師に義務付けられている継続研修を請け負う。

対象者：①キルギスの**薬剤師5,500名**⇒病気、薬が学べるフルバージョン

②**医師・看護師60,000名**　⇒薬剤部分のみ研修(全体の5分の1)

※案件化調査時、国内17薬局から活動に関する応援の署名を受けた。

実施方法： E-ラーニング、現地での講師育成が進めば対面での講義も検討

実施　：**50時間/年**

価格　：未定　　※現状は約**10,000円**/(人・年)で行われている。

単位機関の認定：研修提供側は5年間で最大250時間の研修受講義務の証明として、単位機関の認定を貰う必要がある。現状、弊社は保健省の内諾がある状況。

⇒普及・実証・ビジネス化事業内で正式に認可を受ける予定。

きっかけ

①弊社社員と、あるキルギス人留学生の出会い

②デジタルナレッジ社が行っていたキルギスでのJICAプロジェクト

ＪＩＣＡ様、ＫＲＪＣ様から戴いたご支援　案件形成中

・保健省や民間薬局等とのつなぎ、訪問先のアドバイスなど。

⇒公示前に現地視察を行った際、両事務所を訪問し、案を相談しました。

両事務所の現地ネットワークを活用した重要な相手への顔つなぎ、現地ならではの押さえるポイントの指導など、案件形成に活用できました。

※JICA様やKRJC様からの紹介であることで、先方の対応や興味関心の度合いが大きく変わったと実感しています。

・**安全面での研修サポート**など、現地で活動するうえで重要な情報を提供いただきました。

ＪＩＣＡ様、ＫＲＪＣ様から戴いたご支援　事業実施中

・先方政府との折衝（公的支援の必要性）

⇒保健省が相手のため、ＪＩＣＡ公的支援の位置づけが活動に必須のものでした。重要な会議には現地職員の方にご参加いただくこともあります。

・事業準備にあたるイニシャルコスト（費用的な支援）

⇒海外進出は非常に金銭的リスクが高いため、弊社の場合この支援なしではビジネス化への挑戦は非常に困難だったと思われます。

・現地、保健分野ドナー会議への特別参加（ネットワーク面での支援）

⇒キルギス国内のドナー会議に参加させていただき、WHO、世界銀行等の他ドナーとの事業活動の相互干渉や重複を確認、課題を未然に防ぐことができました。

・現地企業などとの面会設定

⇒弊社事業に関連する現地企業と取り次いでいただき、今後のビジネス展開の構想を練ることができました。

ＪＩＣＡ様、ＫＲＪＣ様から戴いたご支援　実施後

・ビジネス化に向けたアドバイス

⇒案件化調査のビジネス開始に向けた準備においても、現地ネットワークなどを活用した様々なご支援や助言をいただいています。

・現地状況の情報提供

⇒事業後は現地にいないため情報が遅くなりがちなところ、両事務所様の継続したご支援により現地の情報を得て、ビジネス計画に活かしています。

・普及・実証・ビジネス化事業に向けた課題等のアドバイス

⇒案件化調査を監督いただき、その際の課題などをご指摘いただくことで、次の普及・実証・ビジネス化事業提案に向けて企画の精度を上げられました。

事業の実現可能性に向けて

ビジネスをするにも、案件化調査にチャレンジするのにも**現地での事前調査やカウンターパート探しが非常に難しい。**

我々は現地で活躍するパートナーと現地政府に近い友人がいたためキルギスでの事業に踏み切れました。
それがない場合…

我々の経験上、ＫＲＪＣ様への調査協力要請や、ＪＩＣＡ様への相談が非常に有効だと感じています。

オフショア
オフショア開発拠点の設立

プライサービシュケク　代表
小松　由弥

PRICER BISHKEK

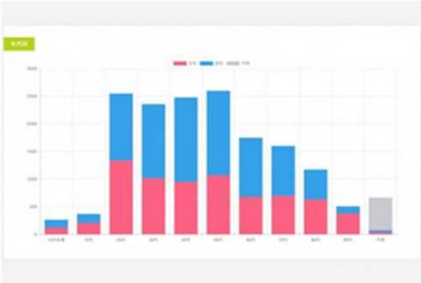
Pull out your potential.

Yuya Komatsu

PRICER BISHKEK

Director

2009年　株式会社プライサー 設立
2017年　Pricer International K.K 設立
2019年　Pricer Bishkek LLC 設立



日本国内における新型コロナウイルス状況まとめサイトの制作・運営

自社サービス

「南海放送アプリ」デザインリニューアル

南海放送様

「伊方原子力広報センター」情報BOXリニューアル

公益財団法人 伊方原子力広報センター様

知育パズルゲーム　どいて！おばけ！

ONWARD

オンワード樫山 様 ページ作成実績

オンワード樫山様

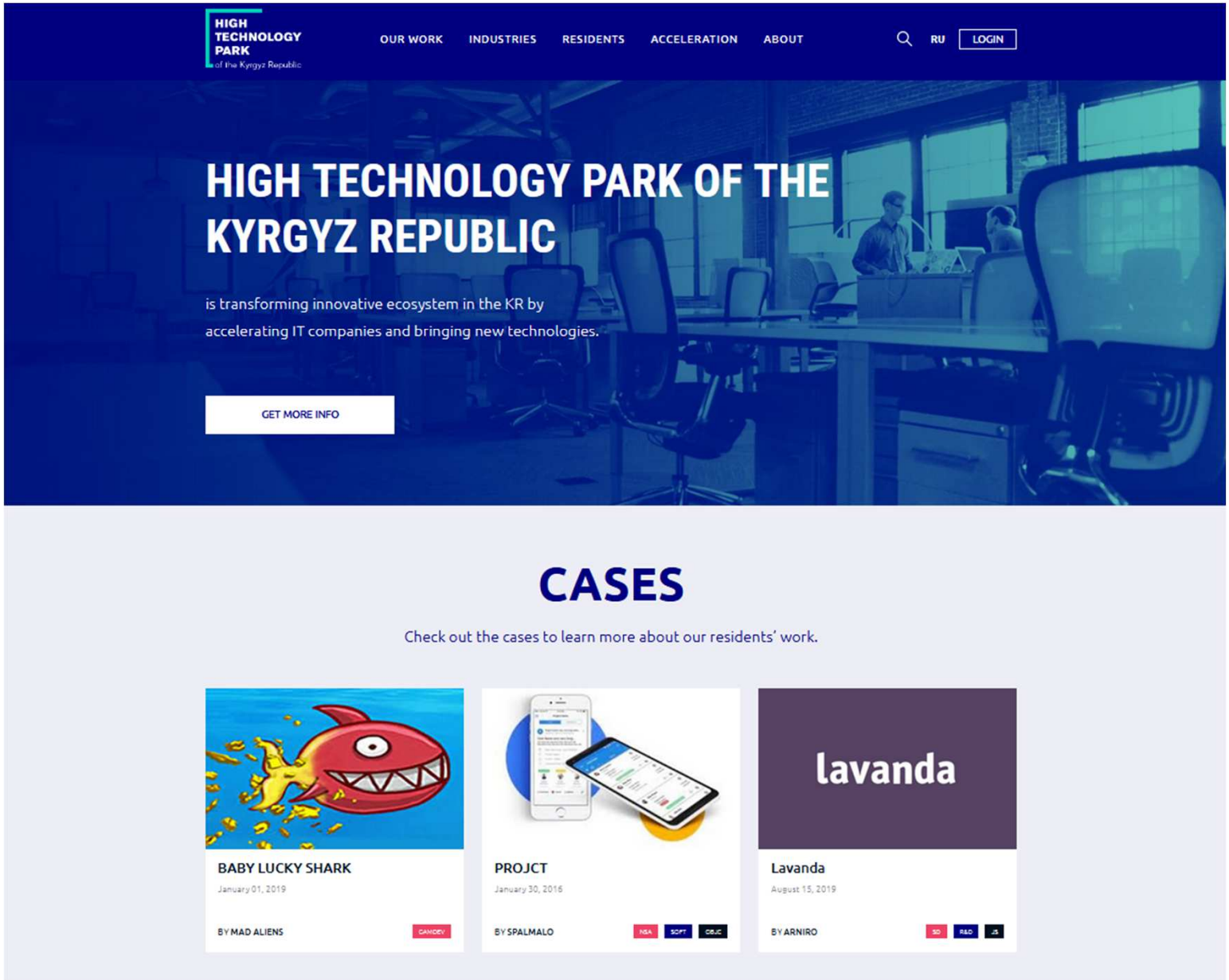
「えひめの生物多様性ハンドブック」製作

愛媛県自然保護課様

https://www.pricer.co.jp/

HTPとは？

HTP (High technology park)



http://htp.kg/

HTPの居住者のための特別の税制上の利点があります

HTPメンバーへの課税	通常課税
0%の利益税 0%の売上税	10%の利益税 1.5%-5%の売上税
0%の付加価値税 全収入の1%(四半期毎に支払い)	12%の付加価値税 従業員の給与総額から17.25%の社会税を会社が支払う
従業員給与から5%の所得税	従業員給与から10%の所得税
従業員の固定平均給与から12%の社会税を徴収	従業員給与から10%の社会税

HTPの居住者になるための手順:

1.申請者がHTPへ、審査に必要な項目を記載した書類を提出すると、約1カ月以内に審査結果がでます。

2.申請が成功した場合、会社は6ヶ月間の一次登録を受け取ります。

3. 2.から 6ヶ月間に関連する活動で MVP（Minimum Viable Product：実用最小限の成果）を示す場合、会社は最終的な登録を受け取ります。

▶法人または個人は、HTP の居住者として登録され、その収入は、IT 関連の活動の結果として受け取った収入の 90% 以上 です。

▶最終登録日から1年後には、商品やサービスの売上総額の80%は輸出でなければなりません。

行った手続きの大まかな流れ

- 会社の登記（日本）
- HTP加入申請（日本）
- 労働ビザの申請1（日本）
- 労働許可証の申請
- 労働ビザの申請2
- 居住者登録
- 銀行口座開設など…etc

現地人材の活用

良かったこと

- 求人に対して求職者からのレスポンスが早い
- 若い人材が豊富（ 仕事や学習に対しての意欲が高い）
- 英語でのコミュニケーションが可
- 停電が発生しない。但し、地域による

困ること

- 日本とキルギスの労働基準法の相違
- 各種手続きが煩雑
- 脆弱な医療体制
- 政変が起こりやすい（但し、比較的安全）
- インターネットの使用料金が高い

困ること

Quaranteed channel - unlimited traffic

Speed of connection to the WORLD zone	Speed of connection to the KG zone	Subscription fee per month
70 Mbit/s	up to 100 Mbit/s	42 000 som
80 Mbit/s	up to 100 Mbit/s	45 600 som
100 Mbit/s	up to 100 Mbit/s	55 000 som
150 Mbit/s	up to 1 Gbit/s	78 000 som
200 Mbit/s	up to 1 Gbit/s	100 000 som

All prices include taxes

キルギスの
人材ポテンシャル

キルギス共和国日本人材開発センター　ビジネス交流専門家
田中　真也

キルギス人材の特徴

- 高い教育水準　識字率99％以上、大学進学率46％
- 外国語への抵抗感の低さ：生まれながらにしてキルギス語、ロシア語のバイリンガル環境におかれる
- 語学習得能力が高いとされている。
- 観光、介護、住宅リフォームなど、人に接する・人の中に溶け込むことが望ましい分野に適している

	日本	タイ	ベトナム	インドネシア	キルギス
識字率	99%（28）	93.5%（116）	93.4%（119）	92.8%（122）	99.2%（27）
大学進学率	63.2%（41）	45.9%（63）	28.2%（93）	27.9%（96）	45.9%（63）

キルギス人材の特徴：プラスのポイント

- 日本人とよく似た見た目
- 日本や日本文化に強く関心やあこがれを持っている人が多い（日本人は兄弟とする伝説）
- 年長者を敬う（逆らわない）文化。ソビエト時代からの上意下達の文化
- 義理人情にあつい、血縁などグループ内では相互に助け合う文化
- 家の建設から車の修理など、自分で何でもなんとかする生活力がある（ただし雑）

キルギス人材の特徴：マイナスのポイント

（８年仕事をしてきて個人的に感じること）

- 計画的に物事を進めることができない人が多い
- ロジカルな考え方ができない人が多い
- 極端に数字に弱い（算数ができない人が多い）
- 調子の良いことを言う割に物事が進まない
- 一瞬でばれる嘘で言い訳をする人が多い
- 最終的にはお金に貪欲（得がないと動かない、だめもとで融通を頼むなど）、ただし、本当に悪いことにまでは手を出さない人が多い

一緒に働けば変わっていきます

日本語教育の状況

- 中央アジアで最も人口当たり日本語学習者割合が高い
- 2000年代後半の中国語・韓国語ブームで一度減少
- 初等・中等教育において拡大（日本風教育ブーム）
- 10の高等教育機関（大学等）で日本語教育が行われ、「ホテルサービス」や「通訳」などで新たな分野の日本語教育が始まっている。

	日本語教育機関数	教師数	学習者数
2003年	6	23	596
2006年	14	53	1064
2009年	16	46	713
2015年	23	48	924
2018年	19	47	1,606

出典：国際交流基金

キルギス日本センターの日本語教育

- 国際交流基金のスタンダードに基づく「まるごと」コースを常設。コミュニケーション能力の向上に重きを置いたプログラム。
- 「まるごと」コースは入門から中上級まで7つのレベルのクラスを開講（１クール5か月）
- 約70名（学生、社会人）が学習中
- 不定期で日本語能力検定試験（JLPT）の準備コースを開講
- 日本企業からの要望に応じて受託コースを実施

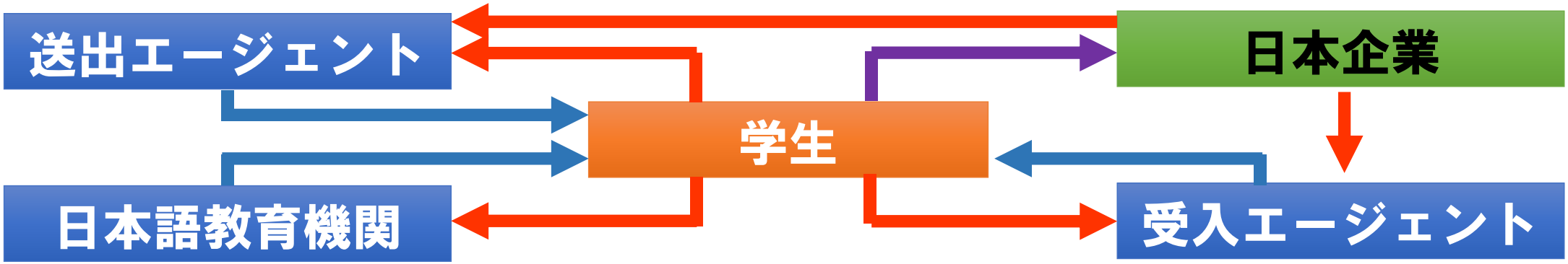
日本企業受託コース事例の紹介

- 日本の建設現場の人手不足からロシア語圏の技能実習生受け入れが開始。文化・言語・生活の面で実習生を管理する現場の親方の確保が課題となった。
- 2019年7月、日本センターは日本企業から土木系大学4年生を対象とした高度人材採用候補生の募集、選考を通過した8名を対象とした集中日本語トレーニング、就労ビザ取得支援をパッケージとしたサービスを受託、業務を開始。
- コロナの影響で日本語能力試験の中止、派遣の延期となったが、8月に実施したオンライン模試では現存5名中3名がN3の合格水準に達した。
- 現在、3か月の延長トレーニングを行いつつ待機中。

日本企業受託コースモデルの特色

- 学生の身分保証：雇用条件を明記した求人票に基づく募集
- 学生の金銭的な負担の回避

日本人材派遣ビジネスモデル（例）



キルギス日本センターのモデル

お金の流れ　サービス　派遣・就職

日本各地で活躍する
キルギス人材

アラバエフ国立大学付属日本学院・就職センター代表
四橋　道徳

アラバエフ・キルギス国立大学附属日本学院の概要

2016年9月に開校し、卒業後日本で就労を目指す学生のための　4年制大学です。　　大学内に日本向け就職センターの設置

＜学科＞

・ホテルサービス学科

・地域学学科

・社会福祉学科（2年制カレッジ）

・IT学科（2021年9月スタート）

＜日本の大学との協定＞

・筑波大学・大阪観光大学

就職センターの送り出し実績①

- 高度人材・技能実習・留学生・インターンシップなど554名の送り出しを達成
- インターシップと高度人材は主にホテルが中心で沖縄・北海道・福岡・熊本・兵庫・名古屋と多岐にわたる。技能実習生については建設関係と介護が中心。特に介護分野に関しては顔立ちが日本人に近いことや真面目な勤務態度により高評価を得ております。

就職センターの送り出し実績②

- 高度人材　76名
- インターンシップ　154名
- 技能実習　92名
- 介護研修　136名
- 留学斡旋　96名
- 合計　554　名

アラバエフ･キルギス国立大学附属日本学院の学生インターンの送り出し状況①

インターン実績　2017年18名/2018年51名/2019年73名/2020年8名（コロナの影響により135名が延期）

2020年6月に日本学院1期生が卒業し日本での就職を希望する12名が日本での就職が内定（リゾートホテル）日本での就職希望率者に対して**100％の内定を達成**。ただ現在コロナの影響により延期となっている。

大学内にあるホテルサービス研修ルーム

アラバエフ･キルギス国立大学附属日本学院の学生インターンの送り出し状況②

積極的に日本でのインターンシップの活用により即戦力を期待するホテル業界から高評価を得ることができ希望者全員の内定につながりました。さらに就職率を上げるため昨年から日本人によるビジネスマナー講座をオンラインで開始しました。　来年度は**50名**の日本での就職決定を目指します。（写真：日本の航空会社に就職したキルギス人女性）

IT分野への派遣の増加

当就職センターでは、IT分野の派遣を増加したいと考えております。昨年からアラバエフ国立大学のコンピューター学科の学生を日本でのインターンを実施しIT関連企業から良い評価を受け継続してキルギスコンピュータ学科の学生の受け入れをすることとなっております。インターンに参加した学生はインターン先企業に来年就職が内定しております。

キルギス人材の今後の見通し

- 日本国内で人材不足とされる建設関係・観光業・介護関係は増加傾向にあります。特に介護分野に関しては、日本の施設からの問い合わせが急増しております。また2020年10月幕張メッセで開催した医療・介護フェアに参加し介護現場で実習するキルギス人を見て興味を示した介護施設も多くありました。

キルギス人材の問題点

- 当就職センターで5年間キルギス人の送り出しを経験した結果感じた問題点は下記の通りです。
- 建設関係で送り出した技能実習生は他国に比べ途中帰国が多い。（逃亡・失踪はありません。）
- ラマダン期間中に断食するキルギス人もおり企業に心配をかけたり業務量が落ちている事もある。
- 他国に比べ残業への積極性が少ない。
- 長期休暇（1ヶ月程度）を希望するケースが他国に比べ多い。

Q＆A

事前にお寄せいただいた質問

日本から投資している有名企業

東京製綱株式会社（東京ロープ）

- 山岳傾斜地などの法面工事を実施
- キルギスで技術者を育成する現地法人を設立
- 今後、同社がキルギス企業でパートナーシップを築ける可能性のある分野として、建設機械レンタル、日本から運び入れる機器の組み立て、据え付け、また販売促進を行う代理店がある（2018年度キルギス日本センタービジネスコース卒業生総会における御発言）

澤田ホールディングス

- 旅行会社大手HISや長崎ハウステンボスを有する持株会社
- キルギスのキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、連結子会社とした
- 収益基盤を固め、ATMとスマホアプリ活用で効率経営、現地で「顧客支持ナンバーワンの最先端銀行」を目指す（2017年9月JETROビジネス短信）

日系・欧米系機械メーカーの進出状況
鉱山での水中ポンプ需要

- 現在、キルギスにはポンプ製造会社はない（以前あった唯一の会社は業態変更）
- キルギスで流通しているポンプメーカー　ロシア（Livgidromash、Livnynasos、Jeeleks）、イタリア（Pedrollo）
- 鉱山会社は独自にポンプを調達してプラントに組み込んで使用

ドローン

- 国の重要物や私有財産の記録は制限されている。
- 現在は所有の登録不要。2019年　運輸道路省が無人航空機に関する規制（案）を作成、この運用が開始された場合はドローン所有者は当局の許可を得る必要がある

キルギス産品
オンラインプラットフォーム
（日本・欧米向け）
設立の場合の課題

技能実習生の送り出し機関

一般の人の生活状況
住環境、日用品

一般の人の生活状況
医療、医薬品

日本食の普及状況

寿司ネタ需要、市場可能性

1250

Q＆A

チャットにお寄せいただいた質問